

東山田駅周辺地区 居住者アンケート調査の結果について

《 目 次 》

1	居住者アンケート調査の目的P1
2	居住者アンケート調査の概要	
	(1) 調査対象P1
	(2) 調査方法P1
	(3) 調査実施日P1
	(4) 調査対象区域P1
	調査区域図P2
	(5) アンケート回収結果P2
3	居住者アンケート調査の結果	
	(1) 現在の東山田駅周辺の「まち」の評価P3
	(2) 将来の東山田駅周辺の「まち」のイメージP5
	(3) 東山田駅周辺の市街化区域編入に対する意識P7
	(4) 自由意見の概要P8
4	居住者アンケートの結果についてP9

平成24年6月

都市整備局

1 居住者アンケート調査の目的

東山田駅周辺地区は、平成 20 年 3 月の市営地下鉄のグリーンライン開業により東山田駅の利用が可能になり、通勤・通学や移動の利便性が大幅に向上しました。

しかしながら、駅の周辺は市街化を抑制すべき「市街化調整区域」に指定されており、建築等が制限されているものの、現状は住宅、駐車場、工場などの混在が進んでいるため、駅前という地域特性を踏まえた良好な生活環境が形成される秩序あるまちづくりの推進が必要と考えられます。

そこで、東山田駅周辺の「まち」に対する意識やニーズ等について、駅周辺の居住者に対してアンケートを行い、今後の東山田駅周辺地区のまちづくりに活かしていくものです。

2 居住者アンケート調査の概要

東山田駅周辺地区において、必要となる都市機能を適切に見極めつつ、今後のまちづくりを検討するために、現状の評価、当地区に求められるニーズ、将来の地区のあり方に関するアンケート調査を実施しました。

(1) 調査対象

東山田駅から概ね半径 500m の範囲にお住まいの方

(2) 調査方法

配布方法：戸別配布（ポスティング）

回収方法：郵送

(3) 調査実施日

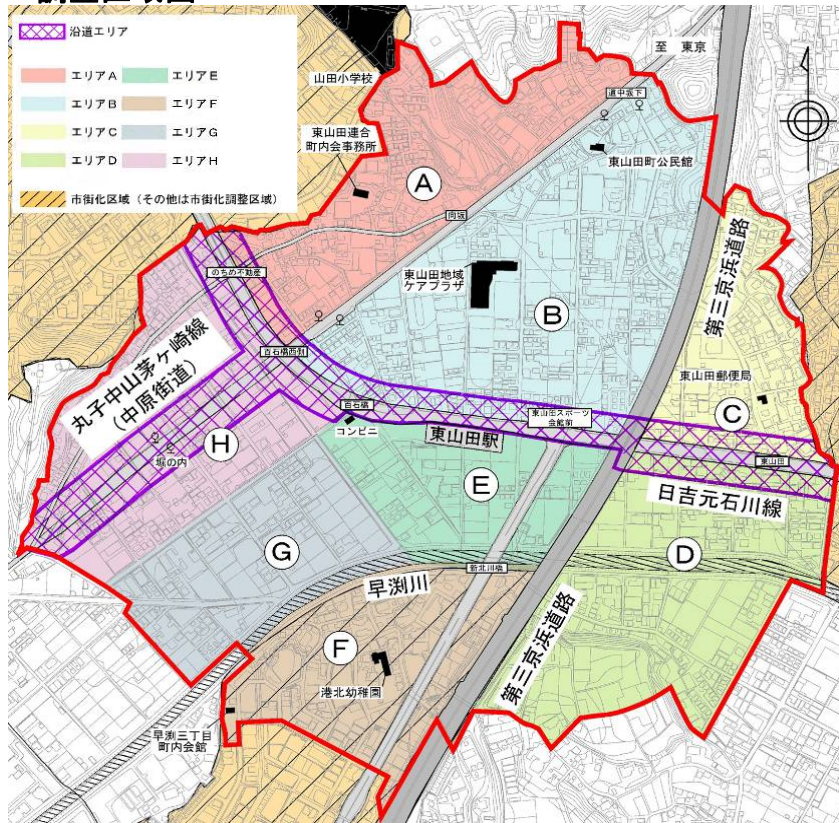
平成 24 年 1 月 31 日（火）アンケート調査票配布

(4) 調査対象区域

東山田駅から概ね半径 500m の範囲（調査区域図の赤線の範囲）

- ・駅前エリア 駅に接するエリア（エリア B、E）
- ・沿道エリア 日吉元石川線及び丸子中山茅ヶ崎線から 30m の範囲
- ・駅周辺エリア 駅前エリア以外のエリア（エリア A、C、D、F、G、H、無記入）

調査区域図



(5) アンケート回収結果

ア 全エリア

	配布数	回収数	回収率
全エリア	2,406 票	715 票	29.7%

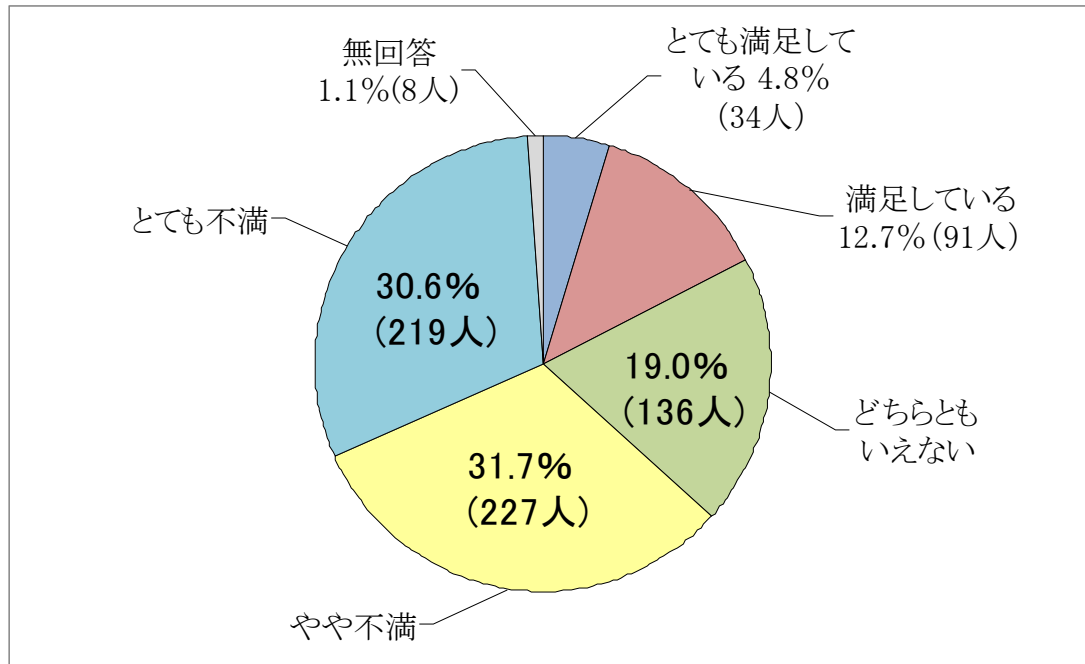
イ エリア別

		単独エリア毎の回収数	地域毎の回収数
駅前エリア	エリアB	164 票	213 票
	エリアE	49 票	
沿道エリア		92 票	92 票
駅周辺エリア	エリアA	83 票	410 票
	エリアC	65 票	
	エリアD	71 票	
	エリアF	57 票	
	エリアG	45 票	
	エリアH	65 票	
	エリア無記入	24 票	

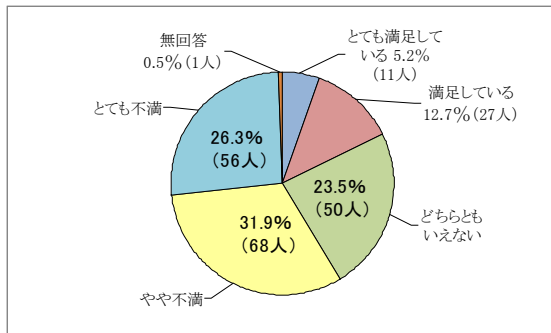
3 居住者アンケート調査の結果

(1) 現在の東山田駅周辺の「まち」の評価

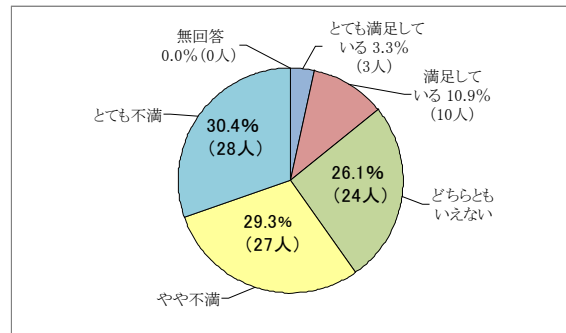
● あなたは現在の東山田駅周辺の「まち」に満足していますか？



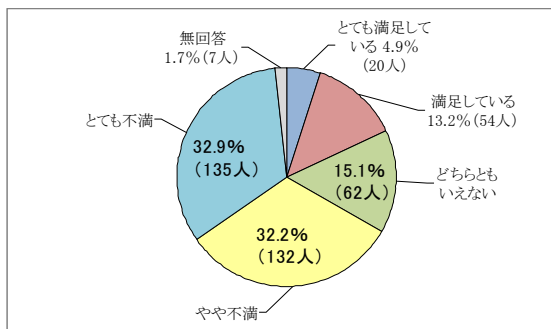
全エリア



駅前エリア



沿道エリア

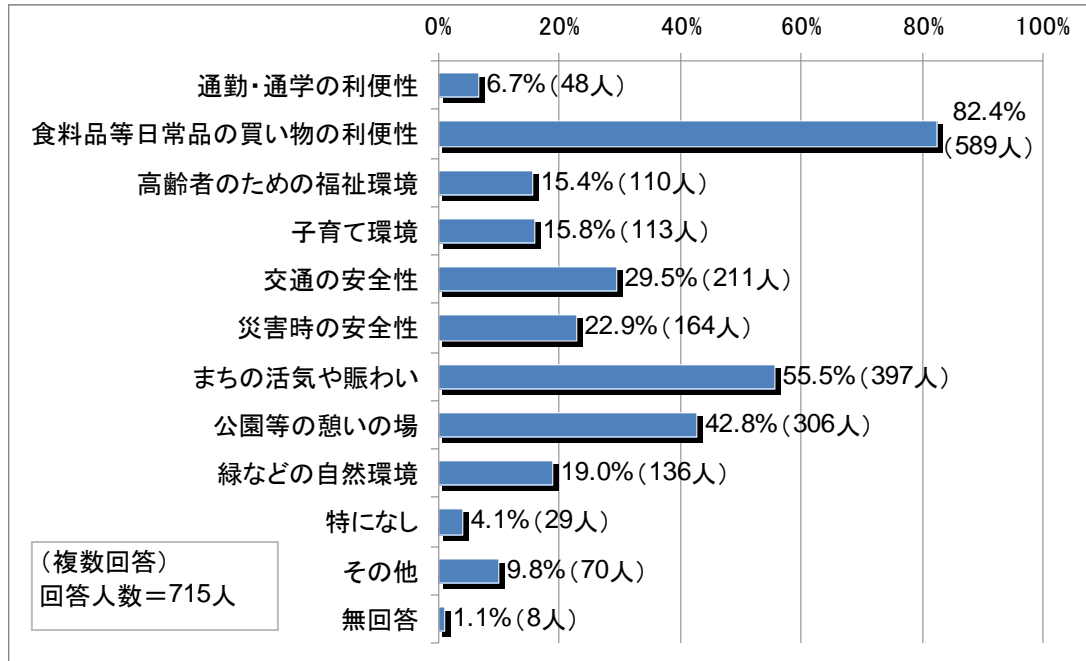


駅周辺エリア

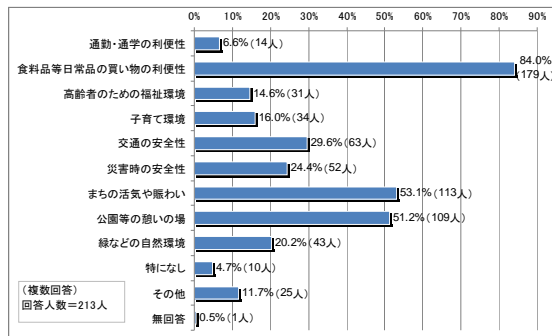
「とても満足」「満足」の合計は「全エリア」で17.5%である。「駅前エリア」では17.9%、「沿道エリア」で14.2%、「駅周辺エリア」で18.1%である。

「とても不満」「やや不満」の合計は「全エリア」で62.3%である。「駅前エリア」で58.2%、「沿道エリア」で59.7%、「駅周辺エリア」で65.1%である。

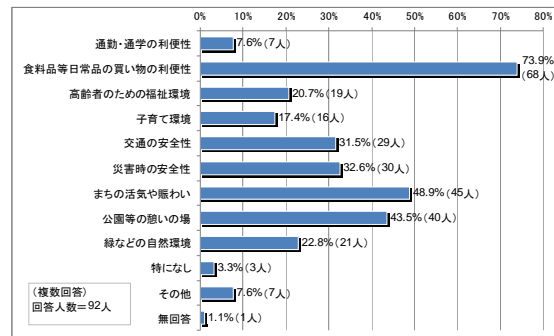
● あなたが東山田駅周辺の「まち」に不足していると思うものはありますか？（複数回答可）



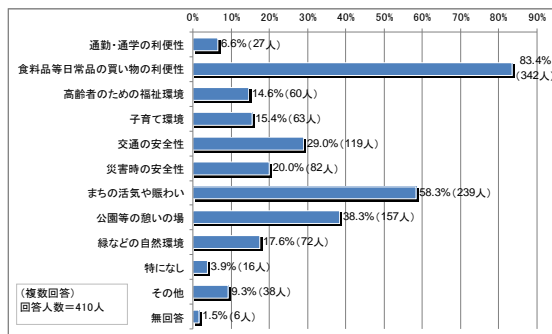
全エリア



駅前エリア



沿道エリア



駅周辺エリア

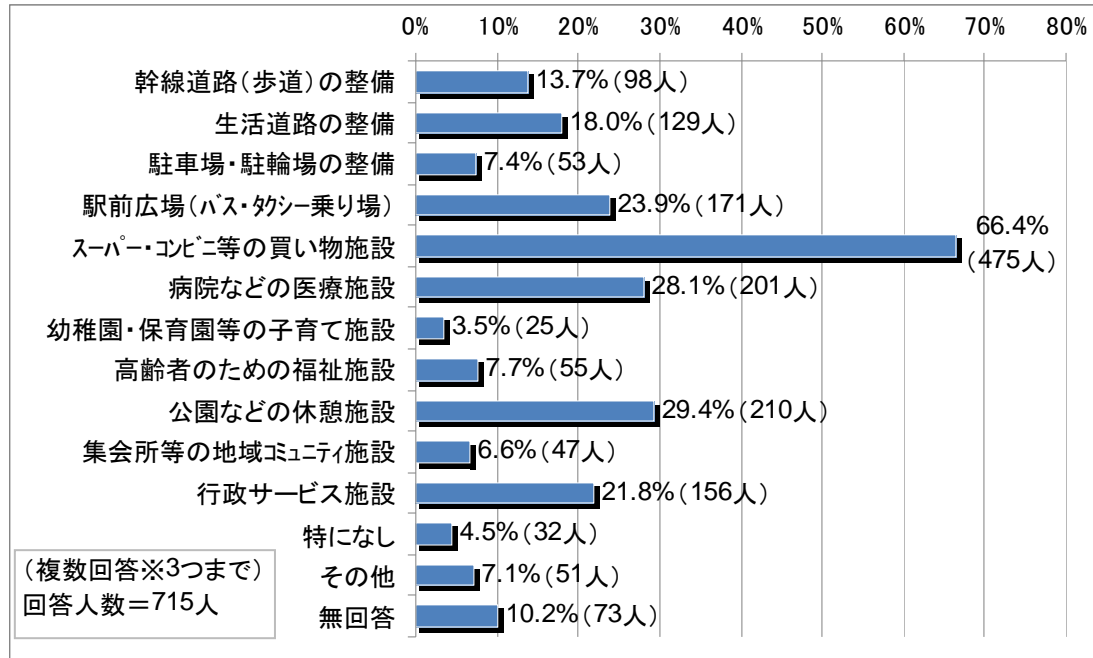
全てのエリアで「食料品等日用品の買い物の利便性」を選んだ人が最も多く、「全エリア」では 82.4%である。「駅前エリア」で 84.0%、「沿道エリア」で 73.9%、「駅周辺エリア」で 83.4%である。

◆「まち」の評価のまとめ

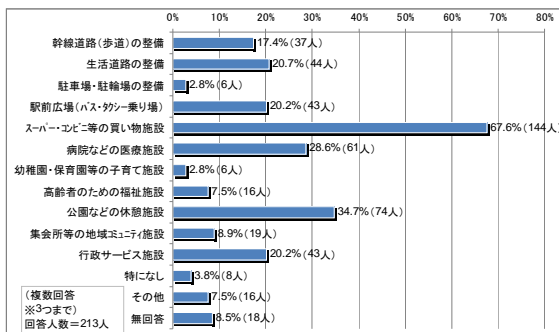
東山田駅周辺の現状に満足している居住者は少なく、不満と思っている居住者の割合が約6割あります。「駅周辺エリア」では、不満と思っている方が、他のエリアより 65.1%と高くなっています。「まち」に不足していると思うものでは、「食料品等日用品の買い物の利便性」が多く、次いで「まちの活気や賑わい」「公園等の憩いの場」となっています。

(2) 将来の東山田駅周辺の「まち」のイメージ

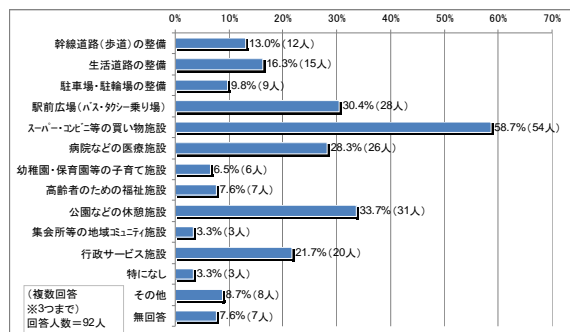
● あなたが東山田駅周辺の「まち」に必要なと思うものはどれですか？ (3つまで複数回答)



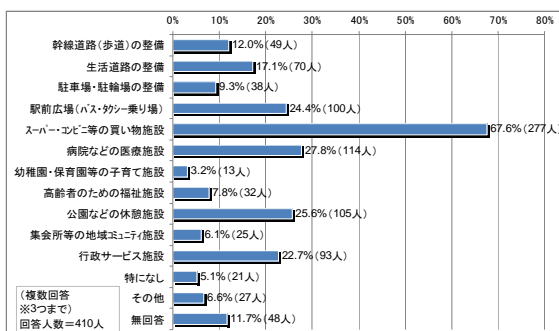
全エリア



駅前エリア



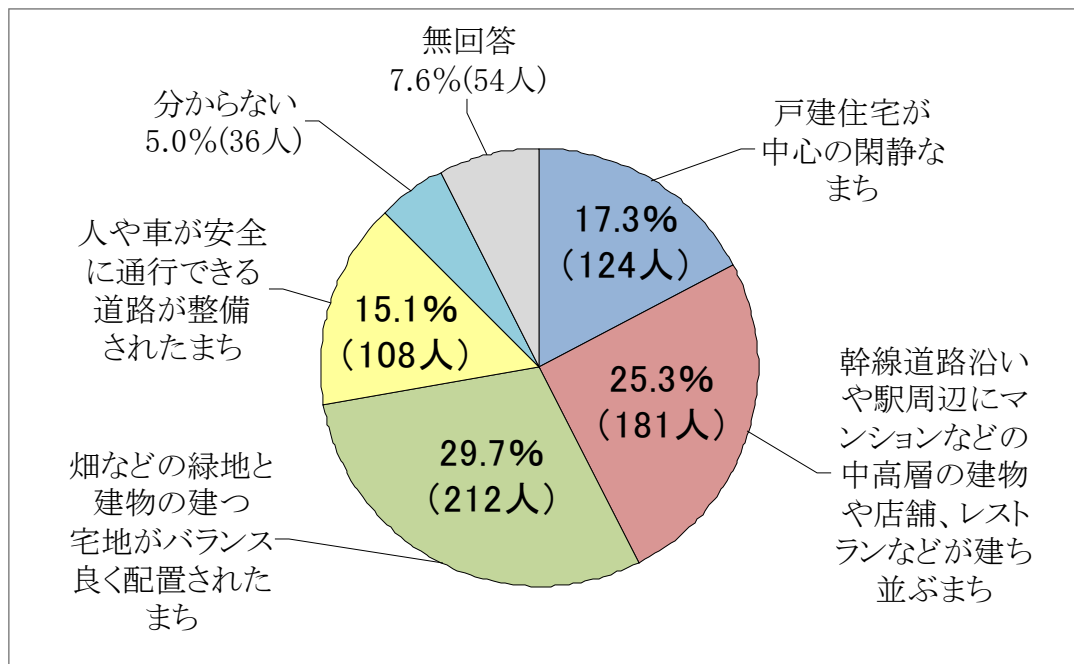
沿道エリア



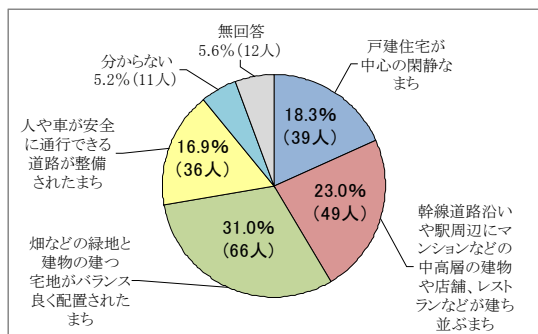
駅周辺エリア

全てのエリアで「スーパー・コンビニ等の買い物施設」を選んだ人が最も多く、「全エリア」では66.4%である。「駅前エリア」で67.6%、「沿道エリア」で58.7%、「駅周辺エリア」で67.6%である。

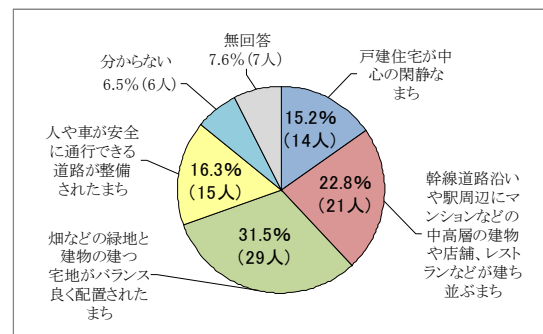
● 将来の東山田駅周辺地区のまちについて、あなたが考えるまちのイメージで最も近いものはどれですか？



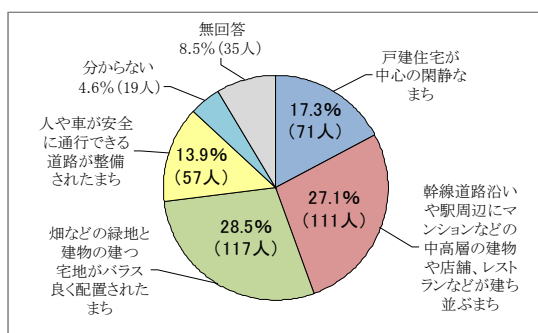
全エリア



駅前エリア



沿道エリア



駅周辺エリア

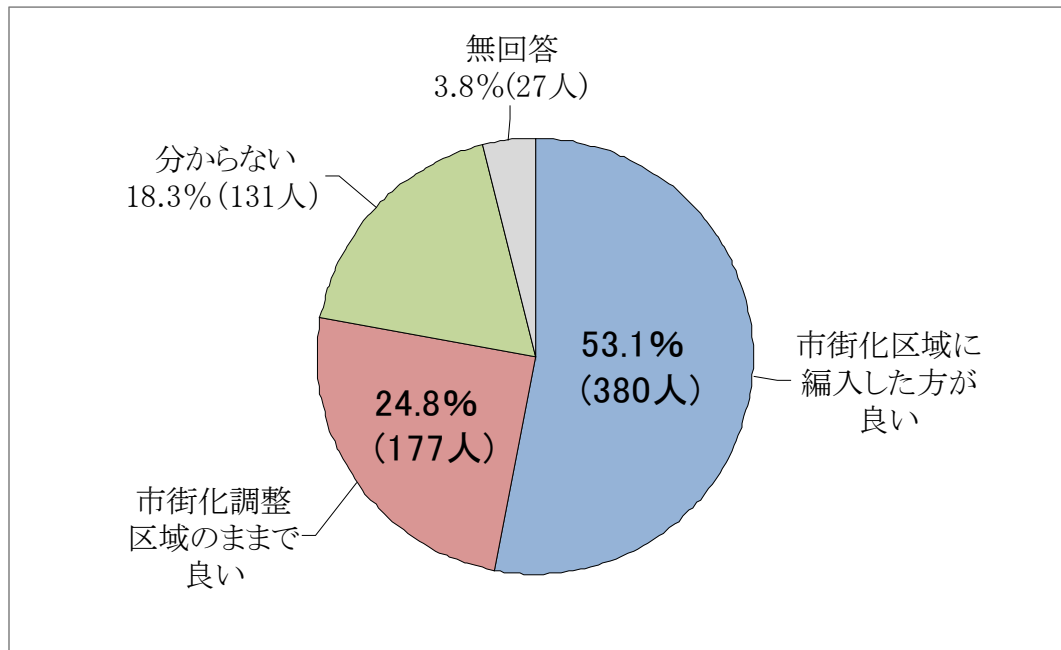
全てのエリアで「畑などの緑地と建物の建つ宅地がバランス良く配置されたまち」を選んだ人が最も多く、「全エリア」では29.7%である。「駅前エリア」で31.0%、「沿道エリア」で31.5%、「駅周辺エリア」で28.5%である。

◆「まち」のイメージのまとめ

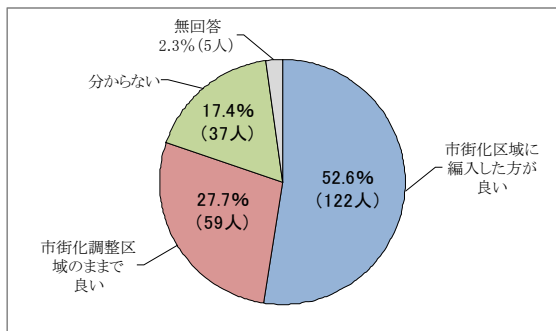
「スーパー・コンビニ等の買い物施設」の要望は全てのエリアで高く、次いで「公園などの休憩施設」「医療施設」「駅前広場」になっています。まちのイメージでは、店舗等のイメージも多いが、良好な住宅環境が想像できる「畑などの緑地と建物の建つ宅地がバランス良く配置されたまち」が最も多く、「戸建住宅が中心の閑静なまち」も多くなっています。

(3) 東山田駅周辺の市街化区域編入に対する意識

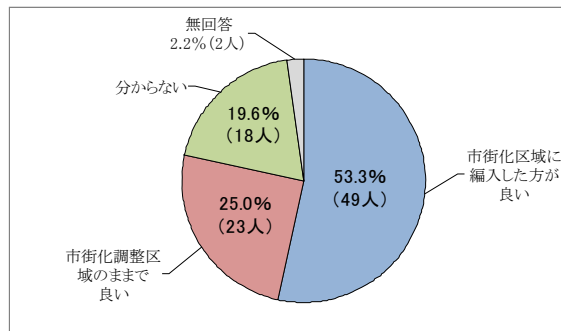
● 市街化調整区域について、あなたのお考えはどれですか？



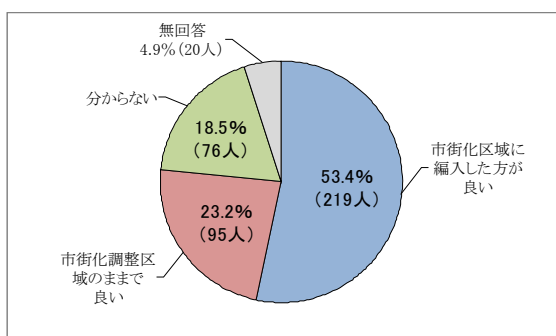
全エリア



駅前エリア



沿道エリア



駅周辺エリア

全てのエリアで「市街化区域に編入した方が良い」を選んだ人が最も多く、「全エリア」では53.1%である。「駅前エリア」で52.6%、「沿道エリア」で53.3%、「駅周辺エリア」で53.4%である。

◆市街化区域編入に対する意見のまとめ

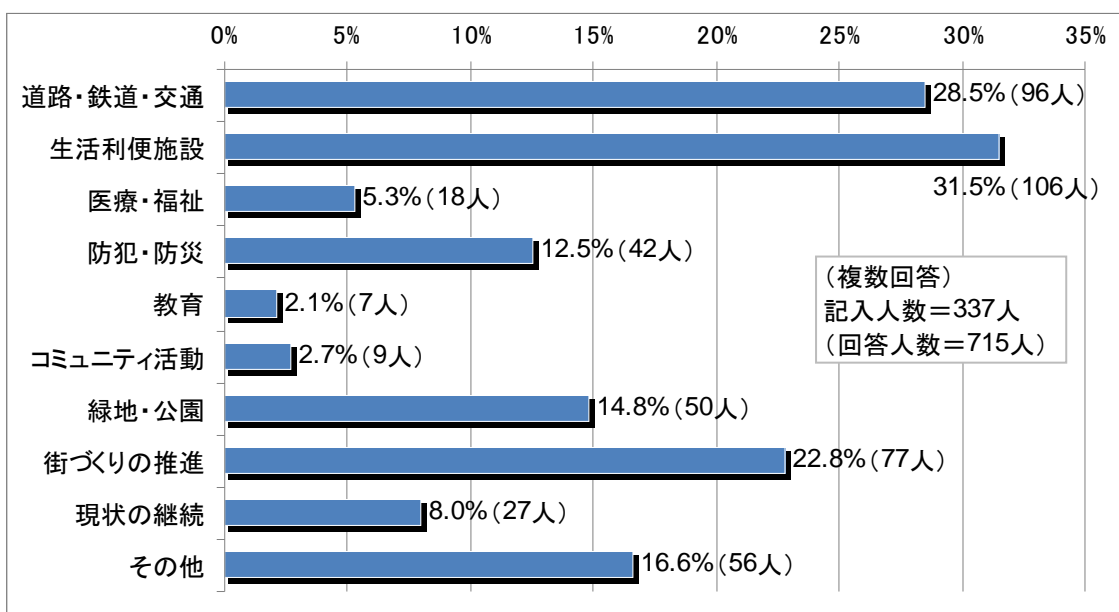
全てのエリアで市街化区域への編入意向が高く、半数以上を占めますが、市街化調整区域のままで良いという意向も約25%あります。「分からない」の意見も20%近くあることから「市街化区域」「市街化調整区域」の違いについて、地域の理解を深める必要もあります。

(4) 自由意見の概要

● 自由意見の内容

全体で 337 人の方にご記入いただきました。そのご意見を内容毎に整理すると、概ね以下のような回答になっています。

種類	内 容
道路・鉄道・交通	歩道の整備、交通の安全性の確保 など
生活利便施設	商業施設、スーパー、ドラッグストア、銀行等の設置 など
医療・福祉	病院等の医療施設、福祉施設の設置 など
防犯・防災	街灯の設置、災害対策 など
教育	学校等の教育施設の設置 など
コミュニティ活動	憩いの場、地域交流ができる場所の確保 など
緑地・公園	公園の計画、自然環境の保全 など
街づくりの推進	市街化区域編入への要望、街の賑わいの確保 など
現状の継続	現在のままを希望、開発を望まない意見 など
その他	上記に分類できない回答、具体的な内容が記載していない回答



(無記入回答人数=378人)

「生活利便施設」に関する意見が最も多く 31.5%、これに続いて「道路・鉄道・交通」が 28.5%、「街づくりの推進」が 22.8%である。

◆自由意見の概要のまとめ

日用品の買い物施設の設置など「生活利便施設」などを求める意見が多くあり、銀行や郵便局の設置を求める意見もありました。道路幅員の狭さと歩行者の安全確保などの「道路・鉄道・交通」の要望、市街化区域編入を望む意見も多くありました。

4 居住者アンケートの結果について

今回のアンケート調査では配布させていただいた皆様から30%近くのご回答をいただき、自由意見の記入もそのうち半数近くの方々からありました。

アンケートの結果から、現在の東山田駅周辺について、まさに満足していると思う方が17.5%で、不満とされている方が半数以上を占めている結果となりました。

その理由としては、買い物が不便であることや、まちの活気や賑わいの不足、交通安全性の向上を求める内容が多く、具体的な施設整備としては、スーパー等の設置、駅前広場や道路整備、公園等の憩いの場、医療施設の設置を求める内容が多くありました。

このように市街化区域への編入を前提とした意見がある一方で、現在の環境のままを望み、農地や緑地の保全など市街化調整区域のままで良いという意見もありました。

今後、横浜市では、さらに土地所有者の方々のご意見なども伺い、さまざまな課題を整理しながら、新たなまちづくりの手法を検討し、地域の皆様のニーズにあったまちづくりを進めていきたいと思っております。

今回の調査にあたっては、駅周辺の多くの方々からご協力いただき、貴重なご意見を基に取りまとめることができました。

ご協力ありがとうございました。